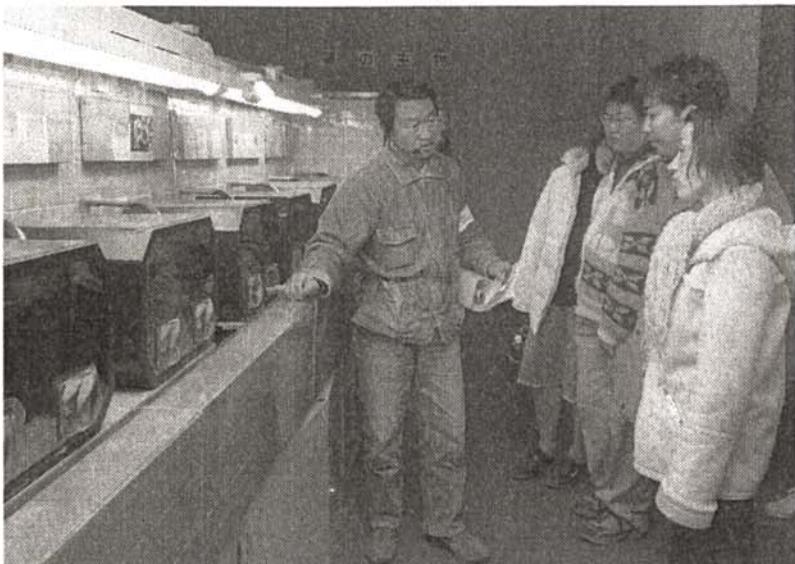


## 白浜町 京大水族館



京都大学水族館で初めて開かれた解説ツアー  
(10日、白浜町臨海で)

**初の解説ツアーオー大成功**  
「春休みにも計画したい」

白浜町の京都大學瀬戸臨海実験所の同大学水族館は

昨年12月25日から10日まで、冬休み

特別イベントとして「水族館解説ツアーオー」を実施。初めての試みだったが14日間で延べ487人が訪れ、関係者も「予想以上の大人気」と話していた。

同水族館は、以前から磯の観察会などのイベントを行ってきたが、天候に左右されないイベント

同水族館は「平均で1日35人ほどが参加した。今後も春や夏の休みなどにも計画したい」と話していた。

として解説ツアーオーを開催。水槽めぐりのほか、普段見られないバックヤードをのぞく裏側めぐりもあった。それぞれ午前と午後の2回実施した。最も参加者が多かったのは1月9日の64人。次いで12月31日の59人、27日の53人だった。観光地白浜温泉とあって、県外からの参加者が全体の7割(338人)を占めた。

最終日となった10日午後の水槽めぐりには、3組6人が参加した。講師は同大学の久保田信・助教授が務め、専門の刺胞動物を中心に説明した。

わずか30分だったが、那智勝浦町から来たカップルは「普段聞けない話だったので楽しかった」と満足そうに水槽をながめていた。

同水族館は

「平均で1日35人ほどが参加した。今後も春や夏の休みなどにも計画したい」と話していた。